



## 2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月12日

上場会社名 株式会社 安楽亭

上場取引所 東

コード番号 7562 URL <http://www.anrakutei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳 先

問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部課長 (氏名) 町田 英之

TEL 048-859-0555

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	8,037	4.5	266	57.4	268	72.3	114	80.3
2019年3月期第2四半期	8,416	1.3	169	1.0	155	1.1	63	20.9

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 148百万円 (141.5%) 2019年3月期第2四半期 61百万円 (25.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	53.65	
2019年3月期第2四半期	29.75	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	15,026	6,263	41.7
2019年3月期	15,486	6,115	39.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 6,263百万円 2019年3月期 6,115百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		0.00	0.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,652	4.2	250	35.1	247	96.0	29		13.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	2,139,434 株	2019年3月期	2,139,434 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,250 株	2019年3月期	1,164 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	2,138,241 株	2019年3月期2Q	2,138,449 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2019年11月15日に証券アナリスト及び機関投資家向けの四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費は緩やかな回復基調にあるものの、米中通商問題等による海外経済情勢の不安定性が見られ、依然として先行き不透明な状況にて推移しました。

外食産業におきましては、消費者の根強い節約志向に加え、牛肉等の原材料価格の高止まり、人手不足に伴う人件費の上昇等、コスト増加の傾向が続いており、さらに長梅雨や大型台風等の天候不順が客足に影響を及ぼすこととなり、厳しい経営環境が継続しました。

このような環境の下、当社グループは、経営理念である「食を通じて地域社会の豊かな生活文化の向上に貢献する」に基づき、お客様の基本ニーズである「安全・安心」に徹底してこだわった「自然肉100%」、「無添加」の商品提供を堅持するとともに、付加価値の高いメニューの開発や既存店舗の改装を推進し、お客様に満足いただける店舗作りに注力してまいりました。また、お客様のニーズの多様化、高度化に対応すべく、食べ放題専門店等新たな業態の開発にも積極的に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高80億37百万円（対前年同期比4.5%減）、営業利益2億66百万円（対前年同期比57.4%増）、経常利益2億68百万円（対前年同期比72.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億14百万円（対前年同期比80.3%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 安楽亭業態

安楽亭業態の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は182店舗であります。内訳は直営132店舗、暖簾14店舗、FC36店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、新メニュー「やわらかBIGステーキフェア」、令和改元記念の「令和！祝いのタン祭り」、人気タレをクローズアップした「タレ王者決定戦」、アイドルグループ「ときめき宣伝部」とのコラボフェア等、安楽亭の楽しさを伝える企画を多数実施し、スマホアプリやLINE配信、Twitter等を中心にお客様へのご案内を展開してまいりました。また、8月にテレビ朝日「10万円でできるかな」、TBSテレビ「ジョブチューン」の2番組にて安楽亭が紹介されたことを受け、「テレビで紹介された食べ放題スペシャルコース」、「TVで紹介！プロも認める合格メニュー1.5倍増量クーポン」等の企画を実施し来店促進を図りました。

以上の結果、安楽亭業態の当第2四半期連結累計期間の売上高は66億86百万円（対前年同期比4.6%減）となり、セグメント利益（営業利益）は5億12百万円（対前年同期比37.2%増）となりました。

#### ② 七輪房業態

七輪房業態の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は29店舗であります。内訳は直営23店舗、暖簾3店舗、FC3店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、「おめでとう令和 松坂牛カルビ販売」、「厳選7品50%増量」、「七輪房の日」、「七輪房ホルモン祭り」等、七輪房の楽しさを伝えるフェアを多数実施し、安楽亭業態同様、スマホアプリやLINE配信、Twitter等によるご案内を展開してまいりました。

以上の結果、七輪房業態の当第2四半期連結累計期間の売上高は11億74百万円（対前年同期比2.5%減）となり、セグメント利益（営業利益）は63百万円（対前年同期比19.6%減）となりました。

#### ③ その他業態

その他業態の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は10店舗であります。内訳は直営5店舗、FC5店舗であります。

なお、その他業態には、「からくに屋（焼肉）」、「国産牛カルビ本舗安楽亭（焼肉）」、「花炎亭（焼肉）」、「安楽亭ベトナム（焼肉）」、「春秋亭（和食）」、「上海菜館（中華）」、「アグリコ（イタリアン）」、「カフェビーンズ（喫茶）」及び新業態の「えんらく（焼肉食べ放題）」、「香港式中華バル ネイザンロード（中華）」を含んでおります。

以上の結果、その他業態の当第2四半期連結累計期間の売上高は1億76百万円（対前年同期比14.7%減）となり、セグメント損失（営業損失）は25百万円（前年同期はセグメント損失3百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ4億60百万円減少し、150億26百万円となりました。これは、借入金の返済による現金及び預金の減少、減価償却による有形固定資産の減少、敷金及び保証金の減少等が要因です。負債は、前連結会計年度末に比べ6億8百万円減少し、87億63百万円となりました。これは、借入金の減少等が要因です。純資産は、前連結会計年度末に比べ1億47百万円増加し、62億63百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等が要因です。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ、1億10百万円減少し、28億43百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上2億56百万円、減価償却費の計上2億64百万円等により4億12百万円の収入となりました。前年同期と比べ2億94百万円(対前年同期比251.7%)の収入の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出1億83百万円、敷金及び保証金の回収による収入2億82百万円等により31百万円の収入となりました。前年同期は1億78百万円の支出でありました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入1億円、長期借入金の返済による支出5億43百万円等により5億54百万円の支出となりました。前年同期と比べ1億35百万円(対前年同期比32.5%)の支出の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2019年5月14日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,955,696	2,844,832
受取手形及び売掛金	421,191	378,887
商品及び製品	127,219	140,715
仕掛品	956	2,224
原材料及び貯蔵品	601,611	613,195
前払費用	203,354	195,660
その他	53,918	95,086
貸倒引当金	△5,098	△5,012
流動資産合計	4,358,850	4,265,589
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,697,335	2,763,354
機械装置及び運搬具(純額)	95,480	80,419
工具、器具及び備品(純額)	301,286	333,490
土地	5,003,923	5,003,923
リース資産(純額)	16,213	5,490
建設仮勘定	221,222	2,255
有形固定資産合計	8,335,463	8,188,933
無形固定資産		
のれん	32,011	81,278
その他	129,669	133,807
無形固定資産合計	161,681	215,085
投資その他の資産		
投資有価証券	64,728	58,424
長期貸付金	5,896	11,224
長期前払費用	19,601	22,962
繰延税金資産	153,809	141,584
敷金及び保証金	2,376,896	2,114,142
その他	35,833	34,583
貸倒引当金	△26,048	△25,972
投資その他の資産合計	2,630,717	2,356,948
固定資産合計	11,127,862	10,760,967
資産合計	15,486,712	15,026,556

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	568,482	537,884
短期借入金	1,060,713	1,064,028
リース債務	15,109	5,259
割賦未払金	186,788	183,437
未払金	185,517	244,524
設備関係未払金	129,826	59,246
未払費用	475,777	439,070
未払法人税等	122,484	171,725
未払消費税等	119,535	86,818
賞与引当金	71,000	75,100
転貸損失引当金	13,297	13,297
その他	567,107	507,995
流動負債合計	3,515,639	3,388,388
固定負債		
長期借入金	4,503,555	4,056,511
リース債務	1,534	—
長期割賦未払金	519,189	510,613
繰延税金負債	104,751	104,320
役員退職慰労引当金	368,569	340,128
転貸損失引当金	36,133	29,485
退職給付に係る負債	223,167	222,086
その他	98,534	111,485
固定負債合計	5,855,436	5,374,630
負債合計	9,371,076	8,763,019
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,182,385	3,182,385
資本剰余金	2,472,098	2,472,098
利益剰余金	495,853	610,569
自己株式	△6,704	△7,134
株主資本合計	6,143,632	6,257,918
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△27,611	6,441
為替換算調整勘定	△384	△822
その他の包括利益累計額合計	△27,995	5,619
純資産合計	6,115,636	6,263,537
負債純資産合計	15,486,712	15,026,556

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	8,416,601	8,037,359
売上原価	3,059,835	2,898,926
売上総利益	5,356,765	5,138,433
販売費及び一般管理費	5,187,701	4,872,394
営業利益	169,064	266,038
営業外収益		
受取利息	907	544
受取配当金	1,157	1,263
受取地代家賃	3,669	3,126
貸倒引当金戻入額	108	161
その他	20,334	18,950
営業外収益合計	26,177	24,045
営業外費用		
支払利息	34,670	17,648
その他	4,831	4,032
営業外費用合計	39,502	21,680
経常利益	155,740	268,403
特別利益		
固定資産売却益	—	15,267
受取保険金	—	52,016
受取補償金	—	25,000
特別利益合計	—	92,284
特別損失		
固定資産除却損	3,794	7,895
固定資産圧縮損	—	50,185
投資有価証券評価損	—	39,926
賃貸借契約解約損	1,556	5,520
訴訟和解金	3,250	—
災害による損失	—	868
特別損失合計	8,600	104,395
税金等調整前四半期純利益	147,139	256,291
法人税、住民税及び事業税	75,199	129,350
法人税等調整額	8,313	12,224
法人税等合計	83,512	141,575
四半期純利益	63,626	114,716
親会社株主に帰属する四半期純利益	63,626	114,716

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	63,626	114,716
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,596	34,053
為替換算調整勘定	1,393	△437
その他の包括利益合計	△2,202	33,615
四半期包括利益	61,424	148,331
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	61,424	148,331

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	147,139	256,291
減価償却費	286,802	264,358
のれん償却額	6,807	11,402
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△108	△161
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,300	4,100
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	9,055	△28,440
転貸損失引当金の増減額(△は減少)	△6,648	△6,648
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,777	△1,081
受取利息及び受取配当金	△2,065	△1,807
支払利息	34,670	17,648
為替差損益(△は益)	16	73
固定資産売却損益(△は益)	—	△15,267
受取保険金	—	△52,016
受取補償金	—	△25,000
固定資産除却損	3,794	7,895
固定資産圧縮損	—	50,185
投資有価証券評価損益(△は益)	—	39,926
賃貸借契約解約損	1,556	5,520
訴訟和解金	3,250	—
災害による損失	—	868
売上債権の増減額(△は増加)	51,576	42,304
たな卸資産の増減額(△は増加)	△204,927	△26,347
前渡金の増減額(△は増加)	△2,788	4,865
仕入債務の増減額(△は減少)	48,144	△30,597
未払金の増減額(△は減少)	38,737	55,406
未払消費税等の増減額(△は減少)	△41,399	△24,699
未払費用の増減額(△は減少)	△42,595	△36,403
預り金の増減額(△は減少)	△48,634	△24,721
前受収益の増減額(△は減少)	△25,650	26,982
その他	△9,722	△26,150
小計	248,489	488,483
利息及び配当金の受取額	1,278	1,359
利息の支払額	△34,634	△17,791
保険金の受取額	—	1,831
補償金の受取額	—	25,000
店舗閉鎖に伴う支払額	△4,478	△1,920
訴訟和解金の支払額	△3,250	—
災害による損失の支払額	—	△868
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△90,250	△84,030
営業活動によるキャッシュ・フロー	117,153	412,064

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△183,509	△183,741
有形固定資産の売却による収入	—	72,449
無形固定資産の取得による支出	△17,645	△22,288
事業譲受による支出	—	△76,000
敷金及び保証金の差入による支出	—	△43,375
敷金及び保証金の回収による収入	25,935	282,579
預り保証金の返還による支出	△3,500	△5,549
預り保証金の受入による収入	2,500	18,500
貸付けによる支出	—	△5,800
貸付金の回収による収入	216	272
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△2,473	△5,308
投資活動によるキャッシュ・フロー	△178,475	31,740
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	150,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△458,050	△543,729
割賦債務の返済による支出	△91,678	△99,676
リース債務の返済による支出	△18,824	△10,541
自己株式の取得による支出	—	△430
財務活動によるキャッシュ・フロー	△418,552	△554,377
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,377	△291
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△478,497	△110,863
現金及び現金同等物の期首残高	2,864,532	2,954,680
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	1,256	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,387,291	2,843,816

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	7,005,569	1,204,408	206,624	8,416,601	8,416,601	—	8,416,601
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,005,569	1,204,408	206,624	8,416,601	8,416,601	—	8,416,601
セグメント利益又は 損失(△)	373,262	79,013	△3,937	448,338	448,338	△279,273	169,064

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	6,686,355	1,174,741	176,263	8,037,359	8,037,359	—	8,037,359
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,686,355	1,174,741	176,263	8,037,359	8,037,359	—	8,037,359
セグメント利益又は 損失(△)	512,081	63,546	△25,362	550,265	550,265	△284,226	266,038

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「安楽亭業態」セグメントにおいて、(株)FSDから2店舗を譲り受けたことにより、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては60,668千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。